

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	歯科保健医療サービスの効果実証事業			担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	歯科保健課			課長：田口 円裕		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	「国民の健康寿命が延伸する社会」(日本再興戦略：平成25年8月閣議決定)を目指すため、国民のライフスタイル等に合わせた歯科検診・歯科保健指導の実施方法を確立、疾病予防または重症化を予防し、健康長寿社会の実現。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	糖尿病患者や要介護高齢者等に対する歯科検診・歯科保健指導を実施し、効果的となる実施方法を検証する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位：百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の状 況	当初予算	65	52	69	71				
		補正予算	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-					
		予備費等	-	-	-					
	計		65	52	69	71	0			
	執行額		65	52	57					
執行率 (%)		100%	100%	83%						
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		100%	100%	83%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	保健福祉調査委託費		71							
	計		71	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	特定の疾患リスクを持つ者 に対する歯科保健指導の 効果を、疾患ごとに検証し 取りまとめる。		取りまとめた報告の件数	成果実績	件	2	3	4	-	-
				目標値	件	2	3	4	-	4
				達成度	%	100	100	100	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)		事業報告書								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	検討委員会及び作業部会開催回数			活動実績	回	8	8	7	-	-
				当初見込み	回	3	8	8	10	-
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	単位当たりコスト = X / Y			単位当たり コスト	百万円	21.7	17.3	21	17.8	
X: 執行額(29年度は予算額) Y: 報告件数			計算式	X/Y	65/3	52/3	63/3	71/4		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること										
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)										
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	特定の疾患リスクと歯科保健サービスの関係について報告件数が増えることで、当該疾患リスクを持つ者に対して、より良質かつ適切な歯科保健医療を効率的に提供する体制の整備を推進することができる。											
	改革項目	分野:	-	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度				
		成果実績	-	-	-	-	-	-				
		目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	2025年に向けて、健康長寿社会を実現することや、疾病予防等を行うことで健康な体を維持し、医療費削減に寄与することを目標としており、国費を投入すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	健康長寿社会の確立は急務であり、民間に委ねることは出来ない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	2025年に向けて、健康長寿社会を実現することや、疾病予防等を行うことで健康な体を維持し、医療費削減に寄与することを目標としており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	平成28年度は公募型企画競争入札を行ったが、一者応札となった。これは、前年度の業務を引き継いで行うことが障壁になったものと考えられるため、平成29年度は業務説明会で過年度の事業内容について可能な限り説明するなどの対策を検討している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	効果的な歯科検診・歯科保健指導の実施方法の確立により健康長寿社会の実現を目指すものであり、その成果は国民へ提供されるものであることから、国費で行うことは妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業者を公募する際に、経費の内訳を提出してもらっており、経費が妥当か確認をしている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	一般競争入札(総合評価落札方式)の落札額が低価格であったことによるものであり、妥当である。	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	平成28年度は4件の実証を行っており、目標に沿った成果を挙げている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	検討会及び作業部会開催回数は、当初見込みをわずかに下回ったが、概ね見込みどおりである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	平成27年度の執行率は100%であったが、平成28年度から一部事業について、一般競争入札(総合評価落札方式)に移行したこともあり、平成28年度の執行率は83%となった。競争性の確保については、平成28年度は一者応札となった。		
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・執行においては、引き続き、業務の効率化や職員のコスト意識の向上に努め、更なるコスト削減に取り組むこととしたい。 ・事業者の選定については、平成29年度に実施する全ての事業に一般競争入札(総合評価方式)を導入し、より競争性を確保することとしたい。 ・予算要求に当たっては、新たな政策課題に対する検討に伴うコスト増も勘案し予算額を精査することとしたい。 		

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

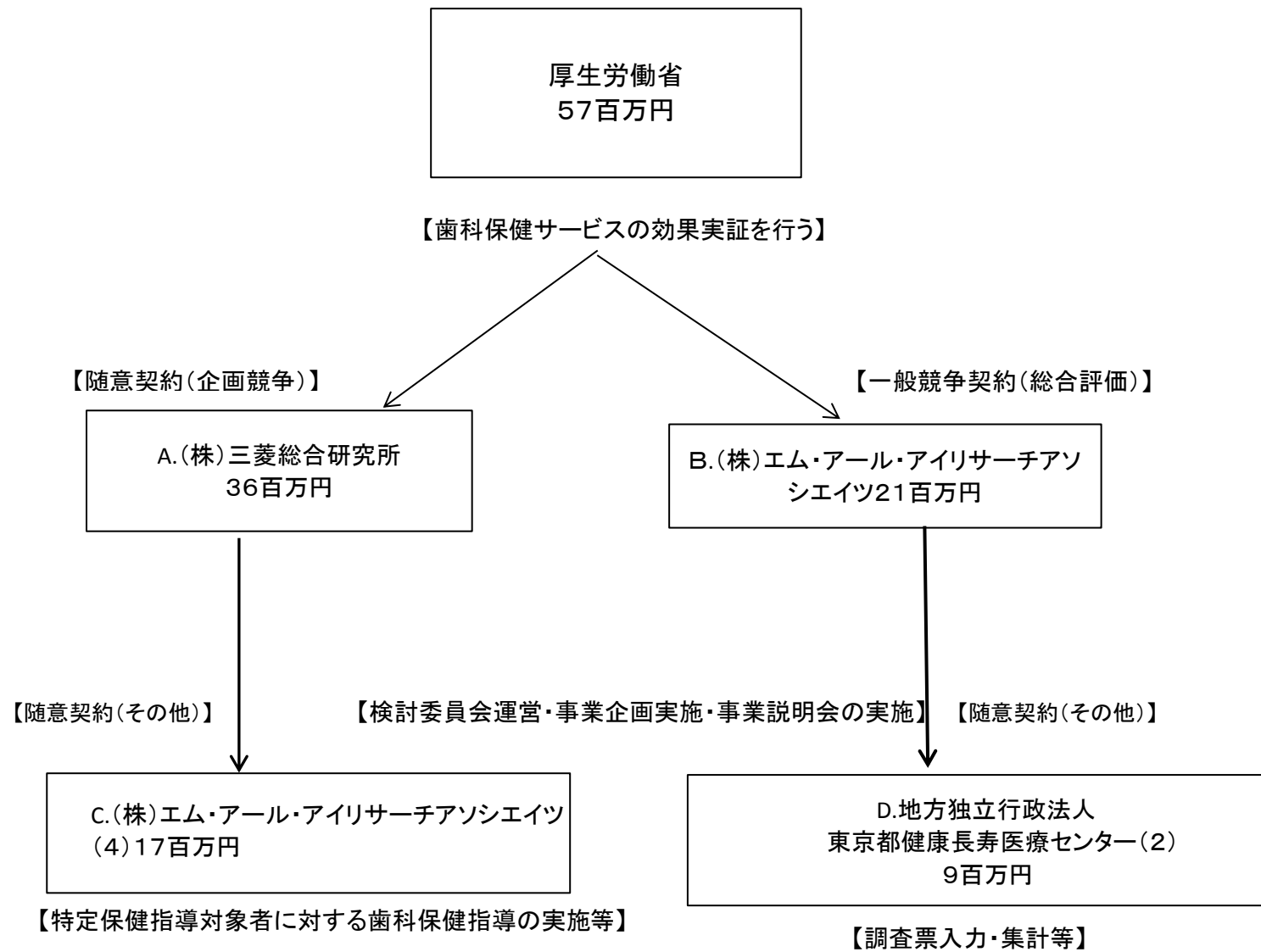
備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	新26-005	平成27年度	32	
平成28年度	31					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

	A.(株)三菱総合研究所			B.(株)エム・アール・アイリサーチアソシエイツ		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	委託費	国立長寿医療研究センターほか	17	委託費	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターほか	9
	人件費	研究員人件費	8	人件費	人件費	6
	一般管理費	一般管理費	4	その他	諸謝金、旅費、印刷製本費	2
	庁費	印刷製本費、賃金	3	一般管理費	上記計の15パーセント	2
	消費税	消費税	3	消費税	消費税	2
	その他	謝金、旅費	1			
	計		36	計		21
	C.(株)エム・アール・アイリサーチアソシエイツ			D.地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	業務費	調査票入力・集計等	8	人件費	人件費	9
	計		8	計		9

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱総合研究所	7180005014582	検討委員会運営・事業企画実施・事業説明会の実施	36	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	エムアールアイアソシエイツ(株)	7010001012532	調査票入力・集計等	21	一般競争契約 (総合評価)	2	76%	-

